

福山市産業支援者連絡会議 議事要旨

日 時：2026年（令和8年）6月29日（月）13：30～14：50

場 所：福山市役所本庁舎 1階 多目的室

出席団体

福山商工会議所、福山北商工会、福山あしな商工会、神辺町商工会、沼隈内海商工会、株式会社日本政策金融公庫福山支店、公益財団法人ひろしま産業振興機構福山支所、広島県商工労働局商工労働総務課東部産業支援担当、福山市経済環境局経済部産業振興課（オブザーバー）
経済産業省中国経済産業局産業部産業振興課

議事内容

■中東情勢に伴う状況について

（国の取組状況）

- ・ 価格交渉・価格転嫁の促進に向け、取引Gメンによる監視体制の強化や、価格交渉促進月間のフォローアップ調査を実施している。価格交渉は一定程度浸透している一方、十分な価格転嫁に至らない事業者も多い状況である。
- ・ 原油・化学製品の調達状況や今後の見通しを把握するとともに、シンナーや潤滑油等については、メーカーから事業者への直接販売スキームを実施するなど、流通段階での目詰まり解消に取り組んでいる。
- ・ 資金繰り支援では、セーフティネット保証5号の対象業種の追加指定や、ガソリン価格に係る激変緩和措置の継続実施などにより、事業者への影響緩和を図っている。

（市内企業の状況）

- ・ 市内企業では、石油関連製品等の仕入価格の上昇が続いている。一方で、資材等については、以前より調達できるようになってきた状況も見られる。
- ・ 建設業などでは、資材不足や入荷遅延により工期が長期化し、人件費等の固定費増加につながっている。また、代替品についても品薄となり、調達に苦慮する状況が見られる。
- ・ 食品製造業では、包装資材の入手困難が続いている。小売・サービス業では、物価高騰による消費の停滞を懸念する声がある。
- ・ 資金繰りについては、直ちに資金需要が急増している状況ではないものの、運転資金や今後の資金繰りを懸念する事業者も見られる。

- ・ 資材が確保できても価格上昇が続いており、価格転嫁が大きな課題となっている。また、代替品の確保や在庫対応など、事業者の自助努力により、表面上の影響が見えにくくなっている可能性もある。

■今後の対応

- ・ 国・県・市が実施する新たな支援策を、福の耳プロジェクトや各産業支援機関などを通じて事業者へ周知し、活用につなげる。
- ・ 原材料・資材の調達状況、価格上昇、価格転嫁、資金繰りなどについて、各機関で引き続き状況把握を行う。
- ・ 既存制度では対応が難しい課題などについては、速やかに共有し対応策を検討する。
- ・ 次回会議は、市内企業への影響や新たな支援策の状況などを踏まえ、7月から8月を目途に開催する。